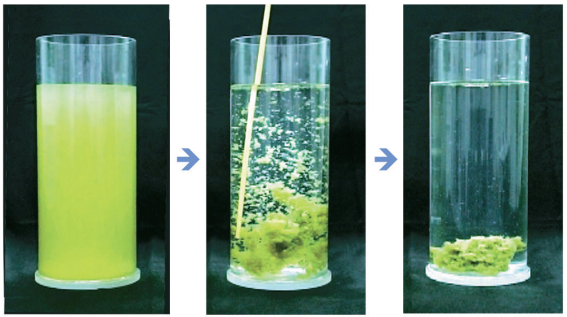
20 全ての人に安心、安全な水を

発明家の小田兼利さんは、震災で水道が止まってしまった時、給水を求める長い列に並んでいました。池の水を見て、（この水をきれいにできたら、生活用水に使えるのに。）と思ったことから、研究に取り組み、ついに「水質浄化剤」を発明します。

大がかりな設備を使わずに、汚れた水をきれいにすることができるこの粉は、浄水場や水道が整備されていない国でこそ役立つのではないか、と小田さんは思うようになります。

小田兼利さん



池の水に水質浄化剤を入れた時の反応